

# おとくの話

「その時あなたを支える肺がん外科治療  
～適切な肺がん外科治療を受けるために～」

日時:平成 19年8月16日

場所:地域医療研修センター

講師:太田 安彦先生(呼吸器外科)

金沢医療センター公開講座  
「話題の病気シリーズ」  
～ちょっと聞いて見ませんか～



～肺がんの早期発見の重要性～

早期肺がんの大きさ:**2cm**(決して油断出来ない大きさです。)  
**40歳を越えた方、喫煙される方**は通常のレントゲン検査だけでなく、  
是非とも**CT健診**をお勧めします。CTは**1cm以下**の肺がんを検出する  
ことが出来るからです。

## ～肺がんトピックス～



### 肺がん外科治療を受ける上で大切なこと・・・

肺がん治療の選択枝は増えてきています。

でも決して忘れないでください。適切な肺がん外科治療を受ける上で大切なことは**“人間らしく生きること”**を守り支える医療の提供を受けることです。この一点がしっかり守られたとき、少なからぬ方において不思議なことに**“がんの意識”**は極めて前向きな**“生の意識”**へと変わってゆきます。(患者さんと苦楽を共にしてきた21年間に患者さんから学ばせて頂きました。)

現在、肺がん患者数は増加の一途で、2015年には年間にして患者数が男女あわせて10万人を超えと言われています。75歳以上の**高齢者肺がん**、**腺(肺の外側)がん**の増加、画像の進歩やCT健診の普及により**早期肺がんの発見頻度**の増加が特徴にあります。

手術手技の中で近年、内視鏡を用いた**胸腔鏡手術**が選択的ではありますが**体の負担の少ない(小さく切って治す)手術**として定着してきています。



